

科 目 名	子ども学演習					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	金 久 慎 一						
開 講 年 次	3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	この授業では、子どもを取り巻く様々な環境問題、子どもの歴史、心身の発達、遊び、子どもを対象とした表現活動、子どもの福祉など、子ども学に関する基礎知識を深める。授業では、1) 文献資料の収集、2) 調査・実験、3) レポートの作成、4) 発表や討論、5) 子育て支援体験活動を行い、主体的な学習力の向上をめざす。また、子どもに関する知識や理解を深めるため、実地見学や観察、調査などの体験的学習を積極的に行う。なお、本演習は4年次開講「卒業研究」の基礎演習として位置づけられる。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 子どもや教育、保育に関する問題関心を深め探求することができる。 2) 論文や文献を読んでその内容や要旨をレジュメにまとめることができる。 3) 日常使っている言葉について考え、「正しい言葉」・「豊かな言葉」について考えることができる。 4) 人間関係を深めたり温かくしたりする言葉の働きについて考えることができる。 5) 子どもの言語感覚を磨くための一方法として音読活動・暗唱活動が重要であるとの認識に立ち、音読・暗唱活動を行うことができる。 6) コミュニケーション力を高めることは人間関係力の育成に連動することを理解する。 7) グループ討議を通して、「ほんものの教師」「よい教師の条件」などについて考えることができる。						
学 習 方 法	論文や文献の講読、レポート作成、発表、討論、実態調査						
テキスト及び参考書等	大村はま著「教えるということ」(共文社)						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎					40
授業態度				○			10
受講者の発表		◎			◎		40
授業への参加度				○			10
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
通 年	第1週	オリエンテーション(ゼミの教員紹介、ゼミの配属方法についての説明)					
	第2週	研究室訪問(選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う)・希望調査票の提出					
	第3週	ゼミ別オリエンテーション(授業の進め方、顔合わせ)					
	第4週	「教えるということ」を読み、作者の基本的な子ども観について読み取り、考え合う。					
	第5週	「教えるということ」を読み、子どもの学習を支える教師の役割の大きさについて考え合う。					
	第6週	「教えるということ」を読み、正しい言葉の育成と言語感覚について考え合う。					
	第7週	「教えるということ」を読み、言葉のもつ意味について考え合う。					
	第8週	「教えるということ」を読み、言葉が人間形成に関わる影響の大きさについて考え合う。					
	第9週	「大村はま」の他の著書を読み、自己成長の大切さについて話し合う。					
	第10週	「大村はま」の著書から触発されたことを整理し、レポートにまとめる。					
	第11週	子育て支援活動を行う。(子どもミュージアムのリハーサル)					
	第12週	子育て支援活動を行う。(子どもミュージアム)					
	第13週	子どもたちの心や言葉を育成し、言語感覚を養うことのできる音読・暗唱活動の大切さについて考え合う。					
	第14週	低・中・高学年に適した詩集を読み、音読・暗唱活動を行う。					
	第15週	前期まとめ(レポートにまとめる)					
	第16週						
年	第1週	オリエンテーション(後期授業計画と「子どもと言語」について個の調査研究活動内容決め)					
	第2週	「子どもと言語」という観点から個人別調査研究内容を発表する。					
	第3週	研究内容を深化させていくための具体的な計画を作成する。					
	第4週	計画表に応じて図書館で必要な文献のチェックリストづくりを行う。					
	第5週	計画表に応じて図書館での調査研究を行う。					
	第6週	計画に応じてネットのみでなく、アンケートやインタビューといった等の様々な方法で調査研究を行う。					
	第7週	収集した資料をもとに分類・整理し、調査研究内容をまとめる。					
	第8週	研究内容の中間発表会をもち、討論会をする。					
	第9週	研究を深めるための視点決めとその調査研究方法をさぐり、計画を練る。					
	第10週	研究内容を深めるための視点に沿って文献やネット等で調査活動を行う。					
	第11週	研究で得た結論やその根拠等を整理し、論理的に発表できるようにレポート書きをする。					
	第12週	研究内容の最終発表会をし、研究内容・方法についての討論会をする。					
	第13週	研究内容の最終発表会を通して、個々の研究内容の不備や新しい課題について発表し合う。					
	第14週	研究内容の課題解決活動や最終発表会を通して、子ども学的重要性について気付いたこと等を話し合う。					
	第15週	後期まとめ(レポートにまとめる)					
	第16週						
備 考	本授業の一環として、西九州大学子ども研究ネットワーク主催事業「子どもミュージアム」に参加する。授業前にはそれまで学習した内容を振り返り、本時学習で学ぶべき内容の確認をしておくこと。授業後は、記録ノートをもとに、理解できた内容を確認すること。						